

# 日本小児精神神経学会

## 1. 学会の会員構成等（平成18年12月末日現在）

会員数： 1,102名  
医師： 630名  
うち小児科： 417名  
うち精神科： 151名  
合計： 568名

役員： 56名（うち女性役員13名）  
医師： 42名（うち女性医師7名）

(1)一般の小児科医・精神科医 約150名  
(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 約400名  
(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 約80名

## 2. 対象疾患領域等

発達障害

知的障害、自閉症、アスペルガー障害、学習障害、注意欠陥／多動性障害、境界知能など

摂食障害、虐待、愛着障害、不登校、排泄障害、行動の傷害、行為障害、身体化障害、適応障害、器質性精神障害、外傷性ストレス障害、強迫性障害、トゥレット障害、小児のうつ、社会的養護（施設、里親）、親支援、連携、福祉、発達検査、心理検査、診断、治療、療育 など

## 3. これまでの取り組み

学会活動内容

- ・学術集会開催（年2回）
- ・機関誌発行（年4回）

学術集会時に企画委員会による教育講演等の設定

- ・平成15年から学会企画委員会主催の研修プログラムとして会員の教育講演会、シンポジウムを開催してきた。
- ・平成18年秋（第96回学会）より研修セミナーを開催した。

学会認定研修施設の設定

- ・平成18年9月に候補18施設認定を行い機関誌（小児の精神と神経46巻3号）に公表した。

学会参加者数

毎回200～300名前後参加

- 第91回（平成16年6月東京）331名
- 第92回（平成16年11月久留米）225名
- 第94回（平成17年10月名古屋）290名

#### 学術集会の内容

- ・学術集会は年2回（6月、10～11月）
- ・一般演題を会員から募集（毎回20数題～30数題）
- ・最近は軽度発達障害関連演題が大半を占める。
- ・会長講演、教育講演、シンポジウムも軽度発達障害および虐待関連が主体。
- ・学会のテーマは各学会主催する会長が決定する。学会本部としては企画委員会プログラム（平成18年秋からは研修セミナー）について直接関与している。

#### 4. 平成18年度の取り組み

- ・第95回学会（平成18年6月東京）  
テーマ「子どもの心の臨床を発達心理学から見る」
- ・第96回学会（平成18年10月宝塚）  
テーマ「軽度発達障害児のコミュニケーション能力をあげる」
- ・平成18年秋（第96回学会）より研修セミナー「ペアレントトレーニング」を開催した。
- ・平成18年9月に認定医療機関候補18施設認定を行い機関誌（小児の精神と神経46巻3号）に公表した。
- ・子どもの心の診療医専門研修会に関わっている。第1回は平成19年3月17日（東京）。

#### 5. 今後の取り組み

- ・学会企画委員会主催の研修セミナーを毎回の学会で開催予定。
- ・子どものメンタルヘルス関連5医学会の次回開催当番学会として現在企画進行中。
- ・本学会の創立50周年（第100回）記念学術集会を平成20年秋に東京で開催予定。
- ・子どもの心の診療医専門研修会に今後も関わっていく予定。